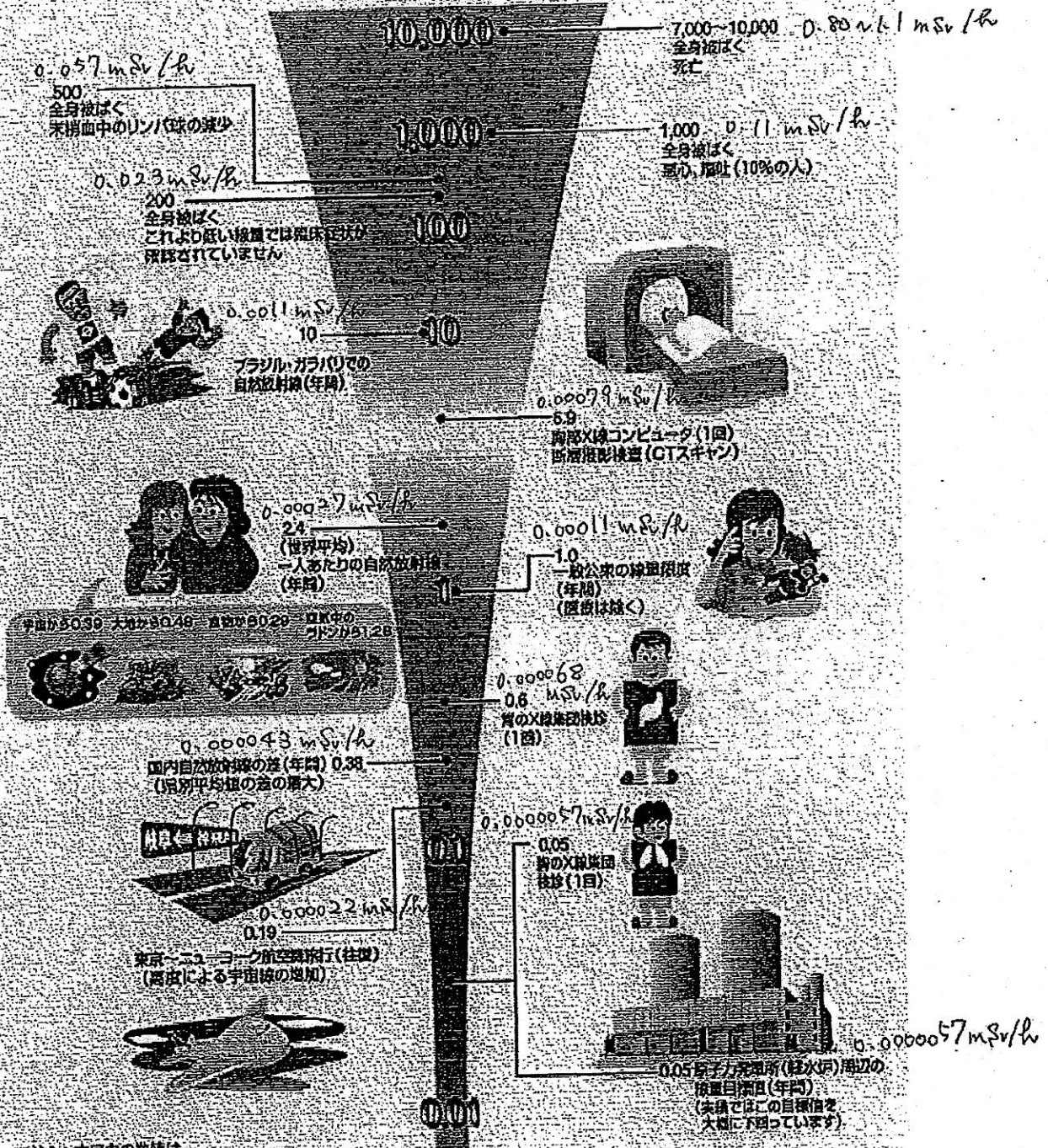


放射線の量

mSv
(ミリシーベルト)



注1: 本図中の数値は
(1)実効線量当量または実効線量で記載されている。
(2)2000年版の国際放射線防護科学委員会報告に準拠している。
注2: 自然放射線の量については、
呼吸によるラドン効果を含めた場合の値。

(放射線医学総合研究所等による)

左 1.2

現地モニタリング情報(3枚目) Zorroマットを~~変更~~
 福島第一(1F) MP6(正門;モニタリングカー:固定)

4枚目の再更新、3枚目は10:19に同じ

2011/3/13 11:51

3月13日

モニタリングカー	-	0:30	-	1:30	-	2:50	-	4:00	-	4:50	-	5:50	-	7:00	-	8:00	-	8:10
測定値(μ Sv/h)	-	3.1	-	3.2	-	3.1	-	3	-	3.1	-	3.2	-	3.7	-	3.5	-	3.2
風向														西南西				
風速(m/s)														1.6				

福島第一(1F) 7:30までは「MP-8南側(展望/海側:サーベイメーター)」、7:40のデータから「MP-1北側(敷地最北敷地境界:サーベイメーター-変更(電離箱式))」

3月13日

測定値(μ Sv/h)	-	0:30	-	1:30	-	2:50	-	4:00	4:30	-	5:50	6:30	7:00	7:30	8:10	8:20	8:30	8:40	8:50
	-	4.5	-	5.5	-	4.5	-	5.2	5	-	5.2	5.7	7.7	5.6	100	100	80	80	90
															検出器を電離箱に変更				

福島第一(1F) MP-4(1号機北西敷地境界:モニタリングカー(柏崎刈羽))

3月13日

測定値(μ Sv/h)	-	0:30	-	1:34	-	3:08	-	4:12	4:42	5:00	5:30	6:00	6:30	7:00	7:31	8:01	8:13	8:17	8:19	8:21	8:23
	-	44.6	-	42.2	-	40	-	38	37	37	37.8	36.7	35.7	36.7	34.9	34.9	41.1	135.5	347.5	698.2	882.2

福島第二(2F) (事業者のモニタリングポスト)

3月13日

モニタリングポスト	-	1:00	-	3:00	-	4:00	-	6:00	-
MP1(μ Sv/h)	-	0.037	-	0.037	-	0.037	-	0.033	-
MP2(μ Sv/h)	-	欠測	-	欠測	-	欠測	-	欠測	-
MP3(μ Sv/h)	-	0.035	-	0.036	-	0.036	-	0.038	-
MP4(μ Sv/h)	-	0.038	-	0.036	-	0.036	-	0.037	-
MP5(μ Sv/h)	-	0.042	-	0.041	-	0.044	-	0.042	-
MP6(μ Sv/h)	-	0.035	-	0.034	-	0.032	-	0.034	-
MP7(μ Sv/h)	-	欠測	-	欠測	-	欠測	-	欠測	-
風向	-	-	-	南南西	-	西南西	-	南西	-
風速(m/s)	-	-	-	3.6	-	2.2	-	6.4	-

県モニタリングポスト (1F側13か所(1か所のみ確認できている。))

3月13日

大野局(μ Sv/h)1	0:00	0:30	1:00	1:30	2:00	2:30	3:00	3:30	4:00	4:30	5:00	5:30	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30
風向	-	0.081	0.081	0.081	0.08	0.08	0.079	0.079	0.078	0.078	0.079	0.079	0.077	0.077	0.076	0.076	0.073	0.077
風速(m/s)	-	-	-	-	-	-	-	南南西	-	南南西	-	南南西	南南西	南南西	北北西	北	真南東	-
	-	-	-	-	-	-	-	1.8	-	-	-	0.6	1.0	1.0	1.2	1.1	-	2.0

ERC1様

←福島総括班(1)

2017年3月13日(水) 10:09 PM01/001

ERC 御中

福島OFC

指示 (案)

平成 28 年 3 月 13 日 09 時 30 分

福島県知事 殿
大熊町長 殿
双葉町長 殿
富岡町長 殿
浪江町長 殿

経済産業省	
番号	

原子力災害対策現地本部長

東京電力(株)福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所で発生した事故に関し、原子力災害対策特別措置法第15条第3項の規定に基づき下記のとおり指示する。

記

放射能除染スクリーニングの実施にあたっては、現時点で主たる線量を与える核種がヨウ素131、セシウム137等であると考えられることに鑑み、当面、γ線サーベイメータにより40Bq/cm²または6000cpmを基準として実施すること。

各機従事班班長

県

ERC 総括班

Check & Review 取組む時

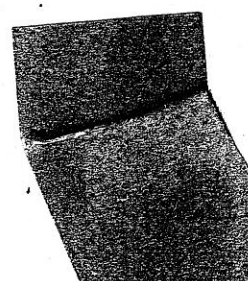
ERC 各班

← 総括班 石塚

除染も

表面汚染

文言の修正



左

共有

経済産業省

番号 131347

クロノロジー

<3月11日>

- 14:46 地震発生 → 直ちに対策本部設置
- 14:50 院長官邸参集 (随行 甲斐さん)
- ① 女川 (震度6強) 1、2、3 スクラム停止 (567.5gal スクラム成功MP異常なし dg 起動中)
- ② 東通 (震度5強) 定検停止中 (スクラム成功DG A起動)
- ③ 1F1、2、3 (6強) スクラム停止 4、5、6 定検停止中 (MP異常なし E CCS起動なし)
- ④ 2F (震度6強) 1~4 スクラム停止 (MP異常なし ECCS起動なし)
- ⑤ 東海第2 (震度6弱) 自動スクラム停止 (RCICで水位確保HPCS起動)
- ⑥ KK (震度4) 1、5、7 運転継続中 2、3、4 定検停止中
- ⑦ 六ヶ所 (震度5強) 非常用 dg で電力供給中
- ⑧ 泊 (震度3) 1、2、3 継続運転中
- ⑨ 浜岡 3 定検停止中 4、5 継続運転中 プールの溢水なし
- ⑩ GNF-J 地震に伴い停電発生 (dgは正常に稼働) MP異常なし
- 14:55 官房総務課に院長参集とERC立ち上げ連絡
- 15:15 モバイル保安院 配信予定 (同じ文書でプレス)
- 15:16 モバイル保安院 発出
- 女川津波 10m (敷地高15m)
- 15:15 プレス会見 (中村審議官)
- 16:30 次回プレス会見予定@第4特別会議室
- 15:42 1F (1、2、3) DGトリップ (10条事象) 注:事務所情報
- 18:00 政府調査団機 市谷から飛ぶ予定 (官邸甲斐さんより) →搭乗について検討
- 依頼
- 15:50 事業者より1F、2FのDG不調との連絡あり
- 15:42 10条通報 (事業者より連絡あり) 1F6 Bのみ起動あとは起動していない (1F 1~5 全交流電源喪失 ちなみに4、5は定検停止中)
- 15:42 警戒本部設置 (現地警戒本部も同時立ち上げ)
- 16:02 福島OFC停電 DG立ち上がりず ERSSも伝送できず
- 16:04 2F 外部電源OK
- 16:05 三菱原子燃料 ポリ容器に焦げ見つかる。(16:09 消火)
- 16:10 1F1~3 RCICで注水中 (8時間程度もつ)
- 16:13 2F 1、2 RCIC注水中 3 水位十分のため停止中 4 HPSCS 2で注入中
- 16:03 プレスへ10条通報あった旨連絡

- 16:20 官邸リエゾンに追加派遣 (保安課 高橋)
- 16:30 福島への派遣者決定 (黒木審議官、山本課長、石垣室長)
- 16:45 事業者より1F-1, 2について15条通報あり (事象発生判断 16:36)
- 17:30 現地派遣組 霞が開出発
- 17:05 産業保安 政府調査団出発 (17:54 市谷集合)
- 17:30 保安院は15条事態と判断 上申プロセスに入った
- 17:40 1F 4 重油タンク脇火災発生
- 17:45 プレス第3報 発出
- 18:15 ERC内会議 (事象進展について)
- 18:22 海江田大臣→総理大臣上申 結論に至らず (もう少し情報収集して判断すること) 従って対策本部開始も未定
- 18:25 自衛隊機1F電源車到着 (到着時間は不明) 電源車 1号機メタクラに接続作業中 (最低1時間かかるとのこと) (計6台要請中)
- 18:30 全関係を対象と関係会議開催 (官邸4階大会議室)
- 18:38 17:35に2F-1 10条判断との情報あり
- 18:33 2F-1, 2, 4 10条通報 (原子炉除熱機能喪失)
- 18:48 17:15 女川1号機タービン建屋地下1階発煙→自衛消防CO2で消火
- 18:50 電源車もう1台が到着予定
- 19:13 プレス会見
- 19:30 ERC内にて情報共有会議
- 20:15 プレス会見 (第5報)
- (負傷者情報 被ばく者なし 負傷者 (JAEA再処理 1名けが、赤チン程度 その他日本原燃、NFI、GNF、東海第二、浜岡 けが人なし)
- 19:03~22 官邸で対策会議開催
- 19:03 緊急事態宣言発出 (政府対策本部、現地対策本部設置)
- 19:20 電源車手配状況 水戸みがわ中 高圧1台、低圧1台 大宮駐屯地 低圧3台 (ヘリでは無理。水戸にあるものを陸送、パトカーに先導依頼予定←20:30 情報)、ゆう柿 明和記念公園 高圧2台 低圧4台 (待機状況確認中)
- 19:46 官房長官会見
- 19:50 電源車はまだ未到着との連絡が事業者からあり
- 20:30 副大臣ほか 市谷到着
- 20:35 「1F-2 RCIC停止 → 東電が住民避難検討開始」の連絡受け
- 20:50 福島県が発電所半径2kmの住民に避難指示との情報あり
- 20:55 池田副大臣 防衛省 (市谷) 出発 21:50 大滝根分屯基地 (福島県双葉郡) に到着予定、陸路にて1Fに向かう (直線距離で20km) 予定

21:03 現地にヘリ発 (池田副大臣、黒木審議官、山本課長、石垣室長、寺本秘書官、金子、海老根)

21:05 東北電力の電源車が福島 OFC に到着→発電所を優先させるよう指示

21:09 東北電力から2台めの電源車到着 (あと2台東北から向かっている)

21:16 県より連絡 (避難対象 1864名)

21:20 ERC 打合せ (プラント情報説明)

21:20 福島 OFC バッテリー切れ 隣接の福島県原子力センターに移動

21:25 福島県立医科大学付属病院に被ばく患者が発生した場合の受け入れを要請

21:27 官邸より連絡 (総理による避難命令 周辺 3km で避難 (10km 屋内退避) 指示文作成すること)

21:30頃 放射線医学総合研究所被ばく患者受け入れ体制整備済み

21:41 安全委員会とのTV会議終了

21:45 医療班状況報告 (変更分のみ; 1F社員2名 (軽傷) 協力会社2名 (病院搬送中))

21:47 プレス (21:30時点情報)
病院に被ばく患者が発生した場合の受け入れを要請

21:50 高圧1台到着もケーブルで接続中

21:53 官房長官会見

21:54 1F-2 水位計復帰し、水位がL2であることを確認

22:00 電源車2台発電所到着

22:12 福島県原子力センターの現状 (FAX1本、パソコンなし、SPEEDI 伝送無理、現地到着メンバーは東電8、大熊町1、保安院1F2、2F4名)

22:14 福島県庁 災害対策本部に確認したところ、避難の状況について詳しい情報は把握できていないが大きな混乱が生じているとの情報は入っていないとのこと。

22:30 副大臣 大滝根分屯基地に到着

22:50 川崎火力のバッテリー自衛隊に輸送依頼 (東電) →断念 広野火力分を輸送中

23:03 福島県内堀副知事 原子力センターに到着

23:17 プレス第7報

23:35 機能班責任者会議 (ERC内) →23:50 終了

23:30 電源車3台発電所到着

23:30 低圧ケーブルを土浦から自衛隊輸送中

23:40 2Fで負傷者 (意識なし、脈なし) →死亡確認 (1名) 積み荷にあたり怪我

23:55 大熊町3km 圏内住民避難完了。

<3月12日>

00:00 池田副大臣 現地到着

00:07 双葉町 避難継続中 (2km→3kmとなったのでやや遅れている)

00:08 大熊町、双葉町 安定ヨウ素剤準備完了

00:15 官房長官会見 (予定)

00:25 1F-1ドライウエル圧 (設計400→今600)

00:30現在 電源車4台発電所到着 (4台発電所近傍まで到達)

00:32 1F 低圧ケーブル構内で発見 接続作業に入る

00:35 電源車情報 (全部で高圧50台、低圧20台が向かっている)

00:30 池田副大臣 → 大臣へ電話

00:40 危機管理監 危機管理チームは休憩に入るとのこと (5:30 開始)

00:50 プレス第8報

00:58 女川1号機 冷温停止状態に入った

01:00予定 文科省からヘリで6名派遣

02:18 プレス会見 (第9報)

08:30 政府調査団第2段出発予定 (内藤審議官、上田、榎本)

01:00 1F2 ケーブル接続作業 津波で作業できず 26:00作業開始の見込み (作業に4時間かかる予定)

01:17 女川3号機 冷温停止状態に入った

03:00 1F1 ベント予定 ← 東電が発表する予定

01:30 官邸より上記につき総理および大臣の了解 (東電および班目委員長より説明)

01:42 安全委員会と会議 (1F1格納容器ベントをすることは同意。それにあたり、避難区域を見直さないことについても了解。若年層の安定ヨウ素剤の投与→投与する段階には至っていない。投与する段階に至ったとしても、服用より遠方への避難を優先するべし。)

03:00 METIで会見予定 (東電小森常務、大臣、院長)

03:05 官房長官会見

01:20 1F2 ケーブル接続作業開始

02:30 広野火力のバッテリー1Fに到着

03:02 1F2 RCICは動いていることを現場で確認した

03:05 METI会見開始

03:17 現地本部 福島OFCに移動予定 (電源復活)

03:59 柏崎地域で地震発生

04:03 KK1, 5, 6, 7運転継続 MP異常なし (震度5弱)

06:00官邸発 総理大臣現地視察予定 (7:00~8:00 1F)

04:18 モニタ状況 0.18→0.60mSv/h

08:30 原子力・地震合同対策会議開催予定 (資料提出する場合は70部持参)

05:00 プレス第10報

05:08 事業者から被ばく者発生の連絡あり
05:15 総理起床→ 次長レク 予定
05:22 2F-1で15条通報
05:32 2F-2で15条通報
05:25 電源状況について(1F内 高圧電源車2台 2号機接続作業中、その他高圧6台、低圧3台が1F内にいることは確認されている(接続の状況は不明)。広野火力発電所から50個のバッテリーを搬入済み。1号機に接続しようとしている。また、川崎火力からバッテリーを搬入する予定。)

5:44 総理判断で避難半径10kmの指示
6:00 福島県プレス発表予定(モニタ値)
6:07 2F4 15条通報 事業者より
6:13 首相ぶら下がり1Fの10kmに拡大と発言 官邸リエゾンより連絡
~~6:30 官房長官会見予定 プレス発表予定 とりやめ~~
6:43 官房副長官より 緊急被爆医療をすすめよとの指示
6:50 福1 大臣は口頭で指示、吉田所長に連絡 手動のベントを解放 号機の具体的な指示がなかった。再度大臣に確認することとした。 とりあえず、まず急ぐのは1号機と吉田所長は判断した。
7:15 大臣は福1 1. 2両方と指示をした。ただし、1のほうを優先すると理解している。
7:00 福1 首相到着予定 7:25到着
7:22 大臣から総理に電話する。現地に着き次第。田口さんから連絡
7:25 首相 福1 現地到着
7:30 記者会見 11報
7:38 バスに総理と同乗している副大臣には、資料が全て渡してある。
7:40 福島第2にも避難の準備をしると、大臣の指示、避難するかどうかは大臣と総理が相談することのこと。
7:45 黒木審議官から総理の決裁がとれた。との連絡を受けた。
7:45 総理の決裁時間。同時に、15条及び福2の3km避難、10km屋内退避指示、号機は書いていない。
7:45 福1の半径10km、高さ10kmを飛行自粛、国土交通省から連絡
15:00 次のチーム集合の予定とした。
8:16 福島行き9:20出発(約1時間で到着)、岩手行き8:50出発(約2時間で到着)との連絡
8:30 原子力地震対策会議開催予定。
8:30 官房広報室で東京電力がプレス会見
8:18 9:00に1福1 手動ベント作業開始、東京電力より連絡。

8:53 ベント解放の時間、福島県と東京電力調整中、住民避難が完了していないため
9:10 東電プレス 本店で巻いている
9:16 9:04に福1 1号機ベント作業開始との連絡あり。
9:17 福2の半径3km、高さ3kmを飛行自粛決定、国交省から連絡。
9:30 福1 1号機 弁2つのうち1つあいたとの連絡あり。
9:45 保安院プレス会見 12報
9:49 福1 1号機バッテリー付け替え完了
9:50 官房長官会見
9:50 2F ベント解放の準備について、東電がプレス発表
10:32 あと10分で総理が官邸に到着予定
10:37 福1 1号機のもう1つのバルブを開けに行ったが線量計パンクして別ルート探索中
11:30 冒頭で総理挨拶あり、官邸で緊急対策本部・現地対策本部開催
総理、官房長官のその後の記者会見はなし、
11:45 保安院プレス会見予定
12:00 自民党対策本部開催予定
12:06 外部電源の情報 新福島変電所 福2は生きている。 福1夜ノ森線鉄塔が壊れているので(6万Vの線)ケーブルを引く作業をしている。 岩井戸線新福島側遮断器工事、夕方には復旧予定。
12:15 福2 3号機 冷温停止
12:25 自衛隊を支援依頼したい。水を確保したい。足りなくなっている。 福1 1号機、タンク車を補助してほしい。
12:28 福1 1号機 ベントは進まないのか、進まなかったらどうするのか。最悪どういう状態になるのか。ここまでか。次の会議までに示してくれ。風向、モニタリングの状況を連絡してくれ。
12:33 自衛隊了解。現地の指揮官に頼んでくれ。ポンプ車が2台行っているの、それを活用してくれと。東電がアプローチをしてくれ。
12:36 福1 2号機、電源引き込み完了。通電前のチェック中。
12:37 福1 6号機の10条通報は誤報
12:47 現地から自衛隊指揮官に依頼していいか確認中。それができたら、武藤副社長 連絡とれたらお願いします。
13:17 住民を送っているバスがガス欠になり始めてきた。エネ庁に対応を依頼した。
13:39 今日中に官邸で対策会議を開きます。時間未定。
13:55 保安院プレス会見 14報
14:10 現地対策本部から 自衛隊で消防車タイプ2台5tタンク車3~4台手配
現地に何時に着くかは不明との連絡

- 14:25 現地対策本部へ代替施設の場所の特定を急ぎ18:00を目途に機能を維持しつつ移動することを早急に検討することを指示。
- 14:30 ベントが成功したと判断した。15:06連絡あり。
- 14:56 海水を送水するか現在検討中。最悪の状態を考えているいろいろなことを検討している。
- 15:03 NHKで溶融している報道があるが、打ち消さなくていいのか。
- 15:04 大臣、海水の注水をいつまでもやらないならば命令を出すとのこと。
- 15:20 総理レク再開予定。
- 15:23 炉心溶融の発表は官邸に連絡してから発表してくれとのこと。
- 15:25 炉心の圧力は低下しつつあり、国として安全の確保に全力を尽くしております。冷静な行動をお願いいたします。との連絡を官邸に電話連絡。
- 15:36 消防庁から海水を送水できるポンプを派遣してくれる。
- 15:36に地震が発生して、その後、爆発があった。
- 15:44 福1 1号機で爆発音があったとの情報。現在確認中。上下動の激しい揺れがあった。白煙が上がっていて、FTV（地元のテレビ会社）が放送している。1号と2号のタービン建屋のあたりで起きている。
- 15:50 官邸に連絡。16:00からの総理の会見に入れてくれと伝えた。
- 16:00 総理秘書官室は16:00といている。現在確認中。総理と官房長官の順番で会見する予定、国民のために安心のため。14:40までに資料を。放射能の雨が降るといふ悪い噂に惑わされないようにしてくれとの談話をする予定。
- 16:10 消防庁は毎分4000リットルのポンプを派遣するとの連絡。
→東京消防庁隊が1F20kmの範囲外で待機(20:30現在)
- 16:17 爆発のあった模様。福1 燃料溶融に伴って水素が発生摩擦か何かの静電気が発生したかの推測。事業者の悲観的な推測より。保安院から官邸に連絡。負傷者がいるらしい。線量が若干上がったらしい。
- 16:17 福1 敷地境界で500マイクロ毎時の指示が出たとの連絡。15条の判断をした。モニタリングカーで計測。
- 16:40 17:00の官邸対策会議、延期連絡
- 16:48 福1 原災法に基づく通知事業者からあり。
- 17:00 保安院プレス会見予定 15報
- 17:02 1号機中央制御室の線量計が振り切れている。運転員は半面マスクを着用して対応。
- 17:10 オフサイトセンターの線量計は0.00外側、風向き南東
- 17:10 官邸5階は携帯通じる。・次長、梶川、渡辺補佐、佐藤均理事、長江
官邸地下には内藤補佐、志間補佐、田口補佐他リエゾン
- 17:19 記者会見は官邸でプレス文の読み方を調整している。プレス会見は改めて

時間を伝える。との院長から連絡。

17:26 福1の福2の両方 20kmでシミュレーションせよと官房長官、内々に検討せよ。と指示。先に町名と人口をおしえてくれ。

線量を30分ごとに測定して500マイクロを超えた地点の官邸に伝えよとの指示。

17:31 官邸からプレスしてよいとの指示が広報班にあったのか？院長電話受け、次官から。

17:34 原発が爆発していないことを国として国民に説明してほしいと東京電力から要請あり。福島県は半径10kmを変えないとの連絡あり。

17:36 大臣は官邸5階次長のそばにいる。

17:39 福2 両方10kmで指示しろとの総理の指示

17:48 産業保安の向かっている先 宿泊先北ホテル507号室

20:30から全体ミーティング予定。

17:50 自衛隊に空中写真をとれないか。依頼。上から見てどうなっているのか。モニタリングをしてくれないか。

17:55 大臣から東京電力に対して福1 1号機 格納容器を海水で満たせを炉規制法64条第3項の措置命令

18:00 総理指示 福1 1号機で15条対策で真水をあきらめ海水で処理。

18:06 海水を入れ込み始めた時間を教えてくれと事業者に連絡、しかし、爆発で準備していたのが、だめになった。

18:11 暗くなっているため、写真が撮れない。との連絡自衛隊。

(18:25 総理指示 福1 20km避難区域拡大。) キャンセル

福2 10km避難区域は据え置きのまま、

18:34 官邸金子さんに人口のシミュレーションを連絡。

18:47 内閣府で物資輸送を工面、よう素材の輸送と官邸金子から連絡

18:58 公示のプレス発表のタイミングは、官邸に確認中。

18:58 よう素材輸送の現地保健所の担当者の名前を内閣府に連絡。

19:03 官邸本部は20:00以降で未定

19:25 官邸から 福1 20km拡大の総理指示は、内閣危機管理室が張り出しするので同時以降にしてください。

19:50に官邸の地下、アンキは17:39と18:25の総理の指示を発表すると同タイミングで保安院もプレスに出す予定。その後、アンキから張り出したのを確認してから保安院はプレスすることにした。貼り出したら連絡くれるとのこと。

19:55 広野町避難状況 5,300人

・全町避難を実施(5,300人)

(※2F20キロ報道があったので無用な混乱を避けるため実施したもの)

・ゆしま工業団地に移動させたいのが、国交省からのバスが車庫に帰ったと聞いているの

で、確認してほしい。(国交省に確認中)

19:55 総理が1F1海水注入を納得。発表のタイミングと実行のタイミングを調整中。

20:05 18:25の避難区域拡大総理了解

20:20 海水注入開始(自衛消防隊の消防車両) *自衛隊の消防車両は引き上げ済みとのことで、現在活動しているのは自衛消防の消防車両のみとのこと。

20:20 20:30に「18:25の避難区域拡大の総理了解の件」を官房長官が会見予定 → 同時刻総理談話

20:24 オフサイトセンター線量測定 屋内1.13×10⁻⁴mSv/h 屋外1.18×10⁻⁴mSv/h

20:25 敦賀市長 院長室来訪

20:30 総理談話

20:45 官房長官会見

21:20 官邸志間 プレス文と大臣命令の了解とれた

21:20 官邸志間さんへ定例プレス21:30に行う旨連絡

21:20 官房長官メモファックスにて受領、海江田大臣発言要領を共有フォルダーに保存

21:25 自衛隊より以下連絡。よう素剤の運搬について22:30勝田自衛隊施設発 → 23:10福島空港着の予定、受け取りの者を質問(確認中)。水戸～勝田までの搬送ルートも確認依頼。

21:50 一般住民3名が被ばくとの報道あり

22:18 2F1号機冷却水ポンプ3台小牧基地→福島空港へ輸送予定との報道

22:25 被ばく情報(県より)。避難中の方90人のうち3人をサーベイしたところ10万カウント/分の人があった。広域に被ばくの可能性があるが対象者は広すぎて把握不可。双葉町から南相馬市に避難中のうち3人が被ばく(10万、4万、3万←「除染が必要なレベルの被ばく」との報道があり)

→対応:サーベイ等を集約して行える場所が必要、可能性のある方への周知が必要。除染等ができるメンバーが必要。

22:30 官邸より22:20前後の地震をふまえた1F、2Fの簡単な被害情報を総理秘書官補にFAX入れるよう要請あり

23:15 空中撮影は防衛省の協力で13日(日)8:00及び11:00に行われることになった。(現地に伝達、池田副大臣にも伝えるよう依頼)

23:20 被ばく情報()老人ホームに収容されている100人が発電所近くから避難してきたとの情報があり、今後検査の必要がある。

23:37 東芝三重工場から2F1号機の残留熱除去系の海水ポンプ3台を搬送中。現在自衛隊により福島空港から現地へ陸送中。

23:50 危機管理監より、防護作業、民間のバス業者等の従業員の不安が募るため、どこまで作業して大丈夫か、防護服の必要の有無を示してほしい。

13日

00:08 総理から1F及び2Fの全号機について次の指示(可及的速やかに)。今現在の状態、次に何をしなければならないか、いつまでにしなければならないか、を簡単にまとめること。

00:11 官房長官より爆発時の映像が入手したいとの発注。

00:14 松下副大臣より指示。これまでに発表したものについて立地自治体にRMを。

00:45 大臣総理了解。(1F2, 3号機のベントについて)その旨東電に連絡。

01:10 1F1燃料冠水目標は27:30(26:25に30分遅らせた)。露出した燃料は冠水するまでゆっくりと水を入れる。

02:44 1F3はこれまでHPCIで注水していたが、温度と圧力が低下したため停止。RCICも起動しなかった(5:10)。消化ポンプ起動には圧力が高すぎて起動せず。その後HPCI再起動しようとしたところバッテリーが足りなく起動せず。

03:55 05:00目処にプレス発表 対応者;根井審議官

04:00 根井審議官 官邸へ

04:15 TAF到着 燃料域・2850mm

04:18 企画調整課長等消防庁へ(消防庁へお願い入れに行く)の報告を情報を入れる。

04:38 大臣指示;1F1注水作業を見る検査官を現地に送り、定期的に報告すること(→1時間以内、明確ではなく)、その旨院長から検査課長へ連絡。

04:55 1F3事業者15条判断(注水系機能せず)(HPCI2:44停止)

05:05 保安院の05:30 プレス会見;根井審議官(17時から変更)

05:23 1F3ベント準備開始、15分後ベント開始予定、大臣に確認中

06:00 1F3 5:40の段階で水位-2000、SRCポンプの準備を始めており完了時刻は8:00を回る。官邸からも問い合わせがあり報告済み。

06:12 1F3の水位6:10時点で-2100

06:15 政府対策本部会議の資料に08:10までのプレスの最新

06:40 官邸より15条通報(全給水機能の喪失のため)の件、総理了解。ベント解放についても了解。その際、総理からはAM対策を含めたあらゆる対策の検討を行うようにとの指示。

07:00 保安検査官4名OFC出発 → 7:40 1階緊急対室到着

07:11 1F3の水位7:00時点で-2600

07:17 官邸から、1F3の15条通報は1F1で出した通報と全く同じため、今回改めて出す必要性について確認があり、15条通報にはしないこととなった。

08:00 1m³/min 注入中、炉水位 (A) ダウンスケール、(B) 年領域-1700mm
08:56 東電より882 μSv/h の線量を確認したことから、15条通報あり。
09:06 1F3官房より以下、至急教えてほしい
・メルトダウンまでどれくらいか
・20kmの範囲で変更する必要があるか
09:08 1F3SR 弁を減圧
09:20 1F3 ベント開始
09:25 1F3 注水開始
9:30 政府対策本部会議
09:38 当院受信。すでに1F1で500 μSv/h 超を理由に申請を受け付けていたこと
から、今回は非常事態宣言せず、プレス発表のみ行う。
10:05 保安院プレス
10:29 リエゾンより1F3に淡水注入大臣了解の旨連絡
11:00 自民党災害対策本部 (予定)
11:00 官房長官会見
12:18 1F3 ベント弁使えない状況
12:50 女川 10条通報 (数地境界放射線量上昇) ←1Fの放射性物質の放出影響
による
13:30 1F2 ベント準備開始